

656

男性：322人 女性：334人
人が二十歳を迎えます。

YUKUHASHI

お子さんと一緒に♪

A woman with brown hair styled in a traditional Japanese fashion, wearing a bright yellow kimono with a subtle pattern, is speaking at a dark wooden podium. She is holding a white envelope or card. Behind her is a large, vibrant floral arrangement featuring yellow lilies, red roses, and green foliage. A microphone is positioned in front of her. The background is dark and out of focus.

昨今、二十歳のついでによく見かけるのは、スマートフォンを使った「自撮り」スマートフォンは簡単に撮影でき、画像をすぐに共有できるため、思い出づくりを楽しむしくみです。一方で、10年前ほど前までは「ガラケー」で写真を撮るのが主流で、20年前では「デジタル」や「使い捨てカメラ」がよく使われていました。思い出しの残し方も、時代とも大きく変化してきました。みなさんが二十歳の時は、どのようにして大切な思い出を残していましたか？

20歳という節目を迎えましたが、まだ私は成長の途中です。未来の自分を誇れるよう、これからも一つ一つの挑戦を積み重ねていきます。

人生や幸せの形は人それぞれ。比較ではなく、自分の幸せを大切に、手を差し伸べる優しさと弱さを見せる強さを持てば、人生はより輝くと信じています。

これまで支えてくれた家族や友人に感謝するとともに、20歳という節目を迎えた今、大人としての自覚を持って日々を過ごしていきます。

これまで、たくさんの愛情を注いでくれた家族に感謝し、「頑張る」と「無理する」を一緒にしないこととこれからも自分を信じて、前向きに進み続けたいと思います。

2004 年（平成 16 年）

新潟県中越地方で震度7の地震、死者40人、新幹線脱線/アテネ五輪で金メダル史上最多タイの16個/ハウルの動く城、邦画ランキング1位/片山恭一の小説「世界の中心で愛をさけぶ」が大ヒットし映画化・ドラマ化

行橋市制 50 周年記念 (NHK のど自慢公開・全国放送される) / 全日本花いっぱい行橋大会が開催 / 台風が相次いで上陸、市内各所に被害をもたらす / 行橋みやこ大橋が完成 / 長寿大橋が完成 / 行橋市地域ケア複合センターが開所

二十歳の門出
喜びと感謝を刻む日

1月12日(日)に行橋市民体育館で行われた二十歳のつどい。予報では雨模様でしたが、当日は爽やかな晴天で、527人が式典に参加しました。参加者を代表して、二十歳の主張を永野奈々さんが行い、「どんな時も優しさで強さで私を導いてくれた母は特別な存在。たくさん愛情を注いでくれて感謝したい。」と述べ、主張を聞いた来場者が涙を流す姿も見られました。

友人や家族、恩師とのおしゃべりや笑い声にあふれ、鮮やかな装いに彩られた会場。装いにはそれぞれの思いがあり、振袖に合わせて髪飾りをオーダーしたという人もおり、特別な日に込められた思いが伝わってきます。晴れやかな姿で写真を撮り合う姿には、笑顔と感謝があふれていました。

晴れの日を迎えた二十歳の方たち。彼らの日々が、希望と感動に満ちたものになりますように、応援しています。

オープニングアトラクションや、バルーンアートによるフォトスポットの設置提案などの企画を考えた、実行委員のみなさんです。20歳を迎える今、将来への思いを綴っていただきました。